

| 授業科目名                | 疫 学 I   |           |   | 担当教員       | 守山 正樹        |  |
|----------------------|---|-----------|---|------------|--------------|--|
| 開講年次                 | 2年後期  | セメスター     | 4   | 時間数(単位数)   | 30 (1)       |  |
| 必修選択                 | 選択  | 授業形態      | 演習  | 使用教室       |              |  |
| 授業の目的                | 保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎についても理解する。   |           |   |            |              |  |
| 到達目標                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疫学指標の意義を理解し、使いこなすことができる。</li> <li>2. 相関関係と因果関係を区別し、因果関係の立証過程を洞察できる。</li> <li>3. 横断研究・症例対照研究・コホート研究などの方法を課題にあわせて提案できる。</li> <li>4. 介入研究の方法を課題にあわせて提案できる。</li> <li>5. スクリーニングの考え方を理解できる。</li> <li>6. 疫学的視点で、看護領域での課題を場面にあわせて指摘できる。</li> </ol> |           |   |            |              |  |
| ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ | 疫学は、地域や集団内で、疾患や健康に関する事象の発生の原因や変動するさまを明らかにする科学である。保健・医療・看護分野での健康や疾病の課題に向き合い、事実を的確に判断し、問題を抽出し、創造的に解決できる能力を育むことに関連して、特に〈問題解決力〉と〈看護の専門性を探究する力〉を養う。  |           |   |            |              |  |
| ディプロマポリシーとの関連        | 人間の尊厳と権利を擁護する力  | 自己教育力     | チームで働く力                                   | 問題解決力      | 看護の専門性を探究する力 |  |
|                      |   |           |   | ◎          | ○            |  |
| 授業計画                 |   |           |   |            |              |  |
| 回                    | 授業内容  | 授業方法      | 学修課題<br>(予習・復習)                           | 取組時間       | 担当者          |  |
| 1                    | 疫学の出発点・流行、観察、論理；疫学三要素（時間・場所・人）；ミアズマ説  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd01 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 2                    | 疫学の三要素と原因究明の考え方；ジョンスノーの場合、高木兼寛の場合、ナイチンゲールの場合  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd02 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 3                    | 疾病の量的把握；現状を把握する有病率；疾病発生と罹患率；観察年；有病率と関連指標  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd03 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 4                    | 因果関係の考え方：原因と結果；歴史的背景；病原体発見の考え方、コホの原則；Hillの条件  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd04 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 5                    | 相関関係・因果関係：相関と因果の違い；相関と交絡；多要因原因説、多要因モデル  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd05 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 6                    | 疫学研究法とは：出発点としての記述研究；水俣病・スモン病・HIV エイズの発見から原因解明   | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd06 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 7                    | 生態学的研究：地図とグラフ；生態学的錯誤；横断研究：調査とクロス集計・仮説の確認・四分表の作成   | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd07, 08 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。 | 30分<br>30分 | 守山           |  |
| 8                    | 症例対照研究：研究手順；症例群と対照群のマッチング；過去の曝露情報収集；四分表；オッズ；オッズ比  | 講義・演習（AL） | マイクロレクチャー epd09 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習。     | 30分<br>30分 | 守山           |  |

|          |  |            |                                       |              |    |
|----------|--|------------|---------------------------------------|--------------|----|
| 9        | コホート研究：ベースライン調査；曝露群と非曝露群の設定；追跡人数と追跡期間；累積罹患率、罹患率；相対危険度、寄与危険度  | 講義・演習 (AL) | マイクロレクチャー epd10 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習. | 30 分<br>30 分 | 守山 |
| 10       | 介入研究：仮説設定と介入対象；介入群と対照群；一重盲検法；二重盲検法；インフォームド・コンセント／アセント  | 講義・演習 (AL) | マイクロレクチャー epd11 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習. | 30 分<br>30 分 | 守山 |
| 11       | スクリーニング検査：人の一生とスクリーニング；カットオフポイント；検査陽性／陰性；感度、特異度；ROC 曲線の考え方   | 講義・演習 (AL) | マイクロレクチャー epd12 を予習して授業に参加 / 授業内容を復習. | 30 分<br>30 分 | 守山 |
| 12       | 主な疾患の疫学  | 講義・演習 (AL) | 講義を受けた箇所を復習.                          | 60 分         | 守山 |
| 13       | 公衆衛生活動の疫学  | 講義・演習 (AL) | 講義を受けた箇所を復習.                          | 60 分         | 守山 |
| 14       | 疫学に基づいた看護  | 講義・演習 (AL) | 講義を受けた箇所を復習.                          | 60 分         | 守山 |
| 15       | 定期試験のフィードバック   | 講義         | フィードバックを受けた内容を復習.                     | 60 分         | 守山 |
| 先行履修科目   |  |            |                                       |              |    |
| テキスト     | 牧本清子 他：標準保健師講座・別巻 2 疫学・保健統計学 第 3 版. 医学書院, 2018.  |            |                                       |              |    |
| 参考文献     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・疫学マイクロレクチャー <a href="http://epidemiology-a.blogspot.com/">http://epidemiology-a.blogspot.com/</a></li> <li>・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊, 国民衛生の動向 2018/2019. 厚生労働統計協会, 2018.</li> </ul> |            |                                       |              |    |
| 評価方法     | 授業への参加度 20%、プレゼンテーション 20%、試験 60%   |            |                                       |              |    |
| 教員等の実務経験 | 国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。  |            |                                       |              |    |
| メッセージ    | 疫学では疾病の発生や疾病の危険度をあらわす際に、分数など中学校レベルの数値計算を 사용합니다。しかし計算力だけが大切なわけではありません。適切な計算方法を選び、正確な数値を得るためには国語力、〈事実関係を論理的に考え、表現すること〉が大切です。本を読み、論理的に考え、国語力を鍛えてください。   |            |                                       |              |    |